

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
児童発達支援センター ひまわり学園		令和7年 3月 26日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	1(2)	・パーテーションを使用し、集中しやすいスペースを作っている。 ・机や棚の配置を工夫している。 ・パーテーションで区切る等で代用している。 ・必要に応じてパーテーションを使用し、個別対応できている。	・様々な活動に取り組んでいく中で、部屋数の足りなさを感じる。 ・クラスが多少狭く感じる。 ・午睡室が狭く感じる。 ・刺激に対して配慮はしているが、アセスメントをとって時折、パーテーション等ははずせるものはずしていいのでは。 ・規定内の定員であるが、課題スペース等限られる部分もある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0(1)	・支援が行き届く適切な人数だと思う。 ・自立でお子さんができることを増やす、活動の流れを分かりやすくするなどで職員の配置は妥当。 ・クラスに3名配置しており、散歩等の活動によって必要があれば増員している。 ・活動によって職員を増やす等の工夫がされている。	・もう少し余裕があった方がいいと思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0	・パーテーション等を利用し、空間を分かりやすく分ける等の工夫がされている。	・できていると思うが、個々に対して分かりやすい構造化は今後も必要。 ・課題スペースは棚がある子供とボックスの中に入っている子供がいる。全員の子供が仕切られた空間で棚があるとやるべきことや順番が分かりやすく1人でもできるのではないかな。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	・毎日清掃したり、加湿、換気をししたりして心地よく過ごせる環境づくりを心がけている。 ・できるところをきれいになっている。	・今後も、清潔で、心地よく過ごせる環境づくりをしていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	・パーテーションで区切り、個別のスペースが確保されている。 ・個人のスペースを確保しており、必要に応じてその場所で過ごしている。 ・気持ちが落ち着かない時等、パーテーション等を利用し落ち着ける空間を確保できている。 ・個別リハ、集団リハに合わせて場所を検討している。	・パニックになった時等、クールダウンできるスペースがあると良いと思う。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	2	・業務後に振り返り会議を行い、職員は情報を共有したり支援の見直しを図っている。 ・振り返りや会議を行っている。	・業務改善は進めてきているが、事務時間や休憩のとり方は今後も考えていく必要あり。 ・りんく組やパート職員との話し合いが多くはできていない。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1	・掲示している。	・ベアレントトレーニングの講座などでできていないこともある。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・園長先生が職員一人ひとりと面談し、話をする機会がありました。 ・年1回以上面談を行うことができています。 ・職員会議や振り返り等で意見を言い合える機会がある。 ・臨時の会議で収集するなど、意見を確認して業務改善につなげている。	・今後も、職員の意見等を把握し、業務改善を図る。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	3(1)	・コンサルの方に入っていたき、アドバイスを頂いている。 ・法人内部監査を実施している。	・未実施。 ・第三者評価は行っていない必要。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・定期的に内部研修が行われている。 ・内部研修や外部研修に参加する機会がある。 ・全職員が研修の対象になるものがあったりと機会を確保している。 ・アセスメントセミナー等、研修に参加することができた。	・eサービスセミナーへの参加は今後も行えたらよい。できれば多くの職員に。 ・内部研修を通して、これからも職員の資質向上を目指していく。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	・保護者総会で説明している。 ・ホームページで公表している。	・パンフレットがあるとよい。 ・パンフレットを更新する必要がある。

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0		・アセスメントの質は改善が必要。 ・アセスメントにおける課題等の分析はもう少しあるとよい。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	・児童発達支援管理責任者だけでなく、担任や療育士の方の意見の下で行われている。 ・ミーティングや書類上、日々の情報交換を行い、共通認識の下、計画書が作成されている。 ・療育支援会議で検討している。 ・担任らを含め支援会議を行っている。 ・支援に関わる職員全体で策定会議を開催して検討している。 ・朝礼、振り返り、職員会議などを設けて話し合いがなされている。	・今後も、職員全体で児童発達支援計画の作成に意見を出し子どもの利益に考慮した検討を行う必要がある。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	・毎月の会議で確認している。 ・目標や目的を意識した支援を行っている。	・今後も、児童発達支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行う。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	2	・遠城寺式評価を使用している。	・遠城寺以外も必要。 ・ツールは普及していない様に思う。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	・ガイドラインに沿った計画書の内容になっている。 ・支援計画書には具体的な支援方法や内容が明記されている。	・今後も、児童発達支援ガイドラインに沿った、具体的な支援内容を設定する。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	1	・クラス担任を中心に行っている。 ・職員同士相談しながら実施している。	・チームで立案する必要がある。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	5	・季節に合わせたプログラムや行事等も取り入れている。	・日々変化を持たせていると思うが、外遊びの機会が少ないように感じる。 ・固定化しているように感じる。 ・遊戯室の活動等、レパートリーが少ない。 ・冬期は室内遊びが多く、活動がマンネリ化してしまっている。異年齢の為、集団遊びが難しい。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0	・集団の特性を考慮した計画書が作成されている。	・今後も、お子さんの状況に合った児童発達支援計画を作成し、支援する。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	・ホワイトボードを活用し、朝礼で確認をしている。 ・ルールブックの読み合わせを実施している。 ・毎日、打合せ等確認している。	・今後もホワイトボードを活用していく。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	・毎日、振り返りを行い情報の共有をしている。 ・毎日振り返りをしているので、次の支援に役立っている。	・今後も、職員間の振り返り会議を行い、情報を共有していく。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	2	・毎日、ケース記録に入力している。	・入力する内容については、より具体的にまた経過を追えるような書き方ができるように改善が必要と思われる。 ・記録の取り方については、統一する必要がある。（研修会があるとよい）
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・半年に1度行っている。	・今後もモニタリングを行い、必要に応じて見直す。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0(1)	・児発管が参加している。	・今後も、お子さんの状況を理解している者が参加する。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	3	・関係機関との情報共有は書面等を利用している。	・行っていないと思う。 ・保健師との連携が少ない。

26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・90分療育のお子さんは行っている。来年度、こども園へ移行するお子さんについての支援会議を開催する予定。 ・移行支援として情報共有を図っている。 ・こども園との情報共有を行い、子どもが安心できるようにしている。 ・併用するこども園と会議を行ったり、情報共有をすることができた。 ・見学や聞き取りを行っている。 ・専門員が配置され共有されている。	・今後も、少しでも安心して併用利用や移行できるよう取り組む。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・年長児を対象に行っている。 ・相互理解を図っている。 ・見学や連絡会に出席し共有を図っている。	・今後も、就学時の移行の際には情報共有と相互理解を図っていく。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	1	・発達相談室などと連携を図り、子どもたちの療育を行っている。 ・発達相談室と連絡を取り合い多方面から1人の子どもをみる事ができている。 ・併用している児は、他事業所と連携を図っている。 ・他の通所支援事業所と連携を図り、情報共有している。また、療育セミナーを開催し、他の事業所にも参加してもらっている。	・他事業所見学会情報交換会等、横とのつながりがもっとできるとよい。
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	0	・つばめ療育館さんからコンサルテーションを受けている。 ・何かあればやりとりしたり、助言を受けたりできている。	・今後も、ひまわりノートを活用したり、外部研修に参加し、質の向上を図る。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12	3	・機会があれば参加している。	・今後も参加する。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	7	・にしこのこども園と運動会やお祭りごっこを一緒にし、交流もできた。 ・防災訓練等で交流がある。	・交流が少ない。 ・交流はほとんどないと思う。 ・同じ建物にいるのでもっと交流できるという。 ・もう少しこども園と交流する機会があってもよかった。(園庭(中庭)で遊ぶなど) ・機会としては今年度減った。西園すこやか園として、年間計画で交流する機会を設けていきたい。 ・早朝・延長以外は関わる機会が少ない。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	・連絡帳や送迎時、相談会でお子さんの様子を伝えあっている。 ・送迎時には家庭の様子や園での姿を話すことを心掛けている。 ・必要に応じて面談する等対応している。	・今後も保護者と情報共有し、連携していく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	7(1)	・問題解決に対して一緒に案を決め、保護者に取り組んでもらう等を行っている。 ・パパスクールや研修をご紹介している。 ・適宜、アドバイスや相談に応じている。	・実施していない。 ・パパスクール等実施。もう少し父の参加が増えると良い。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	・契約時等に行っている。	・今後も丁寧な説明を行う。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	・面談の機会を設けたり送迎時に情報共有をしながら意向の確認ができていると思う。 ・保護者に紙面を配布し、記入してもらう事で願いや心配事を聞いたり、送迎時や面接時、時間をとりお話ししている。 ・クラス懇談会など。	・今後も、お子さんやご家族の意向を確認する機会を設ける。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0		・日々の様子について写真や動画を活用し、説明できるとなお良いのではないかな。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・年2回の個別相談会と必要に応じて相談に対応している。 ・毎日の連絡帳、相談会、送迎時に相談を受けた際は親身になって話を聞いている。 ・随時、丁寧に話を聞き解決策を考えている。	・今後も、丁寧に対応する。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	0(1)	・保護者会や保護者ランチ会を開催している。 ・保護者同士の連携づくりをできるように年3回の保護者会行事を行った。 ・今年初めて父の会を行い、交流会ができた。	・りんく組の保護者同士が交流する機会を設けていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	・スピーディーに対応するようにしている。	・今後も迅速に対応する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・定期的にお便りを配布している。また、ブログ、広報誌を定期的に発信している。 ・活動概要や行事予定は、年始めの保護者総会等でお知らせしている。	・今後も、ブログや広報誌、お便り等を活用し発信する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	・鍵の付いているスチール棚で保管している。	・今後も鍵付きの棚に保管するなど、個人情報の取扱いに十分留意する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	・イラストなどを用いて分かりやすくしている。 ・特性を理解し関わりを持っている。	・今後も、特性に合わせた配慮をしていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	11		・できてはいない。 ・交流する機会はない。 ・地域住民との連携がない。避難訓練を合同でしたらどうか。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0	・マニュアルの作成はできている。研修や必要な訓練も行っている。	・保護者にも周知する機会があると良い。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	・引き渡し訓練も実施している。	・避難訓練を毎月行っているが、避難所までの移動訓練を行っていない。 ・非常階段からの訓練が必要と思われる。 ・園外で活動している場合、散歩等の訓練も必要だと思う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	・内服は、お薬の説明書のコピーを全員で共有している。	・今後も、職員間で情報共有していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	・対応している。	・今後も、医師の指示書のもと対応する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	・安全計画を作成し、研修等を行っている。	・今後も、安全管理に必要な研修や訓練等を行う。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0	・保護者が見られるよう、保育安全計画をワークスペースに置いている。	・ご家族へ周知する方法は検討する必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・その都度回覧するとともに職員会議で検討を行い、共有している。ファイリングして確認できるようになっている。 ・予防策など検討をし直したりする際、役立っている。	・今後も、ヒヤリハットを共有し、再発防止に努める。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	・内部研修を定期で行っている。 ・セルフチェックや研修に参加する機会がある。	・今後も、研修の機会を設け、適切な対応をしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0	・必要に応じて話し合いを行っている。	・今後も組織的に取り組んでいく。